



～お葬儀屋さんのひとりごと～

お盆の海は縁起が悪い！？

古くから、『お盆の海には絶対に行ってはいけない』という、怖い言い伝えが存在しています。この時期は怪談話などの怖い話しのシーズンでもあるので、いわゆる霊的なエピソードも色々耳にしますよね。そこで気になるのが、『何で縁起が悪いって言われているの？』という点。何となくは知っているかもしれませんが、詳しく調べてみました！

① 先祖の霊が帰ってきているから

『泳いでいたら一緒に向こうの世界に連れて行かれるよ』、よくおばあちゃんに言われませんでしたか？これは、7月は地獄の釜が開く『閻魔斎日（えんまさいじつ）』と呼ばれる期間で、色んな霊があのお世この世を行き来できると言われているからです。そもそもお盆シーズンは、あの世から帰ってきた祖先の霊を供養するための時期なので、『わいわいとレジャー場所で遊ぶのは不適切』という考えも、根強いみたいですね。祖先の霊とも似てくるのですが、海で水難事故にあった人達が悪い霊となって、楽しそうに泳いでる人達を水中に引きずり込もうとするという説もあります。

② 水難事故が多く起こっているから

夏に泳ぐ場所と言ったら、「プール」「海」「川」位しかないのに、そりゃもう多くの方が毎年泳いでるワケなので、その分、溺れて亡くなってしまいう方も後を絶ちません。特に子供から目を離さないようにしましょう！まだ大人と違って、危ない場所や泳いじゃダメの場所の判断が付かないので、一緒に行く場合は常に注意をしてみてください！遠浅タイプの海でも、つい気が大きくなって深いトコに行ってしまう・・・というケースは、残念ながら毎年起こっているんですよ。

③ 単なる迷信や言い伝えだった

先ほど紹介したような霊的な言い伝えを信じている人もいる一方で、「縁起とか全く関係なしの迷信だよ」という人も少なくありません。人は『何らかの現象が起こると理由をこじつけたがる』という面も、確かにあると思うので、この説もそれなりの説得力はありますよね・・・つまりあらゆる危険があるので、海に近寄らないためのエピソードを作っただけというワケです。

まとめ

という感じで、お盆の海は縁起が悪い理由について詳しく見てきましたが、よく言われている霊のエピソードにもそれなりのワケがある事が分かりました。自然的にも普通に危ないですね。そして夏には外せない季節行事でもあるので、何も無い日頃でも、代々のご先祖様が見守ってくれているおかげという考え方もあるので、供養をして感謝の気持ちを伝える事が良さそうですね。ちょうどこの時期は海水浴の終わりとかぶっているので、何とかして行きたいという人も多いかと思いますが、参考になればと思います！

初盆相談会開催中！

大切な方を亡くされてから初めてのお盆。今年も当社では「新盆」をお迎えするお客様のご相談・準備のお手伝いをさせていただきます。初盆祭壇・盆提灯・籠盛・初盆返し・うちわ等ご注文を承ります。また、店舗にて盆提灯の見本も飾りましたので実物をご覧になりたい方はぜひお越し下さいませ。

※ 初盆祭壇・特価提灯・うちわは数に限りがあります。

※ 初盆提灯の展示は、当社会館でご葬儀が執り行われている場合は飾っておりません。

実物をご覧になりたい方は、恐れ入りますが、事前にご確認をお願いいたします。

